

100周年に向け始動

菘川和道同窓会新会長 (39回、昭和41年卒)に聞く



第33号

令和元年(2019年) 10月1日発行

【編集・発行】

〒426-8577 藤枝市天王町1丁目7-1 静岡県立藤枝東高等学校同窓会

【同窓会】

電話/054-645-3529 FAX/054-645-3529
 <同窓生数>26,385名 <在学生数> 884名
 <職員数> 72名

【印刷】

〒426-0041 藤枝市高柳1丁目17-23 株式会社共立アイコム
 電話/054-635-4651(代)



同窓会新会長 菘川 和道

同窓会長就任の依頼を受けた時の心境は。

東高は5年後の令和6年に創立100周年を迎える伝統校。その卒業生を束ねる組織のトップに就くわけですから、身が引き締まる思いがしました。同時に責任の重さを痛感しました。

7月6日の同窓会総会で正式に会長に就任しましたが、実は当時、体調を崩し入院していた、担当医の外出許可を取り付けて会場に駆けつけました。欠席するわけにはいかないという強い思いが取らせた行動でした。

同窓会とはどんな組織であるか受け止めていますか。

全ての同窓生をまとめ、連携、交流を深め合っていく組織だと思います。さらに、母校の発展に寄与すべき組織でなければ、と認識しています。昨年、グラウンドの人工芝が全面的に張り替えられました。この時同窓会はその組織とスクラムを組んで張り替え事業を推進しました。当時、同窓会の副会長でしたが、こうした取り組みが母校の発展に寄与する活動の一端である、と実感しました。

冒頭の発言にもあるように、東高は5年後に100周年を迎えます。

100周年をいかに迎え、次の時代へ向けどのような指針を発信するのか。その方向性を導き出すのが会長の責務である、と受け止めています。来年度には準備のための組織を立ち上げ、100周年を迎える活動を本格稼働させるつもりです。

同窓会の抱える課題は。

いま、あらゆる組織が高齢化に悩みを抱えています。東高の同窓会も全く同じです。ある支部の総会に参加された方が出席者の最年少者でした。とにかく高齢化は深刻です。まず、役員若返りを図る必要がある。そのうしないと、組織は活性化しません。現在、関西地区で支部結成の準備が進められていて、間もなく正式発足の運びとなります。実はこの準備活動の中心になっているのが30代、新たな息吹を感じます。いかにして若い層に同窓会活動に参加してもらうか。知恵を絞っていくつもりです。

組織の若返りと同様、こちらも若手対策が課題です。

ところで、どんな高校生活を送っていましたか。

部活は水泳部。先輩の指示で1年の時から、帽子は被らず、下駄ばき登校をしていました。楽しい3年間で、高校生活を堪能していたと思っています。校訓の「至誠一貫」を座右の銘にしています。もともと、この言葉の意義に気付いたのは30代半ばになってからです。が、「裏切らない」「約束は守る」「誠実であれ」。そう言い聞かせながら人生を送っています。校訓を自分なりに解釈し、理解した結果です。



校長(新任) 山田 淳一郎

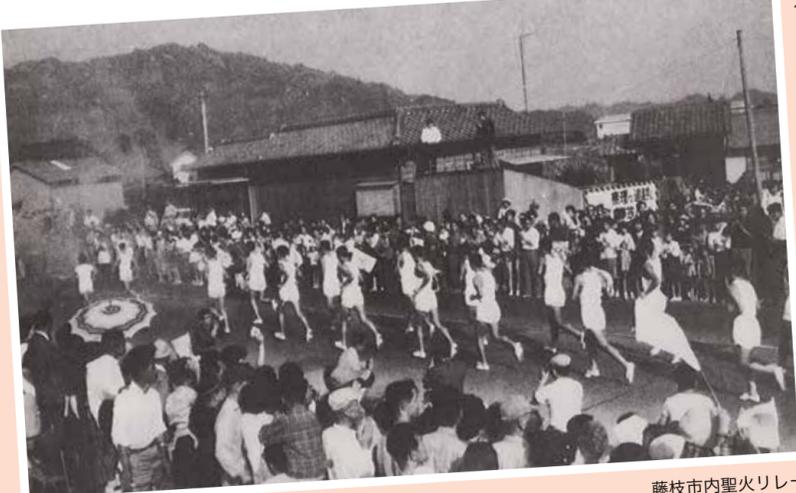
さらに光り輝く東高に

本年4月から、校長として着任しました山田淳一郎と申します。よろしくお願いたします。着任以来これまで、東高のすばらしい歴史と伝統を様々な場面で感じつつ、日々過ごしてきました。新装された緑鮮やかな人工芝グラウンド、校舎を際立たせる藤色のライン、そして、生徒が真摯に、生き生きと学校生活に取り組む姿を見ながら、藤枝東高校の今を実感しています。

さて、令和時代の幕開けは、これからいよいよ100周年を迎えようとする、東高の新たな時代への幕開けでもあります。社会の変化に対応すべく、高校教育も大きな転換期にあり、子どもたちが未来を切り開いていくために必要とされる資質・能力も、以前より一層高度化しています。しかし、高校時代に身に付けるべき大切なことは、様々なことに興味・関心を持ち、好奇心旺盛にチャ

昭和39年の東京五輪聖火リレー

前回の東京五輪開幕が4日後に迫った昭和39年10月6日、聖火リレー隊が藤枝市内の国道1号を東進、当時のサッカー部の面々が大役を担った。布施基雄主将(40回)以下、サッカー部員が聖火を運んだのは静岡家具工業団地入口から旧岡部町境までの第53区間で、沿道を手



藤枝市内聖火リレー

理め尽くした人垣の中を力強く走り抜いた。

メンバーの一人だった大畑正敏さん(40回)は、創立60周年記念誌「サッカー六十年の歩みに手記を寄せ、4年に1

度、オリンピックが開催されるたびに、人々の見守る中をひた走り、走ったあの興奮が私の心によみがえってきます」と振り返っている。

2度目の東京五輪まであと1年。興奮がよみがえる時が近づいてきた。

本年度の東校同窓会総会は令和元年7月6日(土)に藤枝市の小杉苑において多数の役員の皆様のご出席をいただき開催されました。元藤枝市郷土博物館館長、八木勝行氏による「ハサミ切り絵と木喰さん八十歳の旅」の特別講演の後、引き続き30年度事業、決算報告・監査報告、令和元年度事業計画並びに会計予算について審議され原案の通り可決されました。同時に役員改選について審議され菘川和道氏(39回)が新しい会長に選任されました。30年度決算報告につきましては本紙記載の通りです。

同窓生はもとより関係者団体の多大なご尽力をいただきました校庭の人工芝張り替えは平成30年9月23日に完成式典が行われました。永続的に人工芝グラウンドを使用するため、使用する生徒や関係団体が毎年基金を積みたてる方式も始まりました。

平成30年度 藤枝東高等学校同窓会会計決算書 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

収入総額 22,420,638円
 支出総額 22,420,638円
 差引金額 0円

科 目	決算額	予算額	増 減	摘 要
繰越金	15,995,817	15,995,817	0	
入会金	2,796,000	2,803,000	△7,000	10,000円×276名 3,000円×12名
維持費等の収入	3,622,908	3,600,000	22,908	維持費・総会費
雑収入	5,913	20,000	△14,087	預金利息等
合 計	22,420,638	22,418,817	1,821	

科 目	決算額	予算額	増 減	摘 要
会議費	1,037,825	1,200,000	△162,175	本部役員会、役員総会、委員会
事務費	3,357,275	3,870,000	△512,725	
事務局費	418,200	500,000	△81,800	
旅費	232,816	200,000	32,816	本部役員会、各支部会
印刷費	1,058,961	1,150,000	△91,039	会報送付用封筒・葉書コピー用紙
通信費	1,645,718	1,900,000	△254,282	会報送付費用・往復葉書、切手
備品費	0	100,000	△100,000	
消耗品費	1,580	20,000	△18,420	USBメモリ部品
事業費	1,985,640	3,020,000	△1,034,360	
記念品費	475,456	500,000	△24,544	卒業生記念品、入会記念品
活動助成費	64,864	150,000	△85,136	支部総会の補助
支度費	9,946	60,000	△50,054	祝電等
会館補助費	100,000	100,000	0	千南原会館維持費補助
会館整備費	0	500,000	△500,000	
会館保険料	54,350	60,000	△5,650	同窓会館火災保険料
渉外費	107,820	150,000	△42,180	各関係の団体等への祝電・会報出陣者御礼
特別会計補助金	630,509	900,000	△269,491	クラブ助成
人工芝張り替負担金	500,000	500,000	0	
雑費	42,695	100,000	△57,305	卒業アルバム代・資金庫等
予備費	0	14,328,817	△14,328,817	
次年度繰越	16,039,898	0	16,039,898	
合 計	22,420,638	22,418,817	1,821	